

# 総務文教委員会記録

令和5年3月14日（火）  
17時20分～18時05分  
全員協議会室

- 【委員】 永見委員長、三浦副委員長、  
肥後委員、大谷委員、芦谷委員、佐々木委員、西田委員  
【議長・委員外議員】 笹田議長、村武議員、柳楽議員、牛尾議員  
【執行部】 砂川副市長  
（地域政策部） 邊地域政策部長、岸本政策企画課長、川合定住関係人口推進課長  
【事務局】 松井書記
- 

## 【議題】

- 執行部報告事項  
(1) 浜田市まちなか交流プラザの運営体制の変更について 【定住関係人口推進課】
- その他

【議事の経過】

[ 17 時 20 分 開議 ]

永見委員長

ただいまから総務文教委員会を開会する。出席委員は7名で定足数に達している。レジュメに沿って進める。

1 執行部報告事項

(1) 浜田市まちなか交流プラザの運営体制の変更について

永見委員長

執行部から説明をお願いする。

地域政策部長

この件については3月10日の予算決算委員会や、これまでの総務文教委員会等での説明の中で、特に施設管理や事業の企画、運営に関して、設置者である浜田市と委託を予定している中間支援組織「はまだ協働学舎ファンタス」との役割分担や委託業務の内容について、適切に運営が可能かどうか、また、内容がわかりにくいといった指摘をいただいたことから、このまちなか交流プラザの運営体制について変更を行うこととした。本日、職員配置の拡充やファンタスへの委託業務の内容について改めて説明し、ご理解をいただきたい。

( 以下、資料をもとに説明 )

永見委員長

委員から質疑はあるか。

西田委員

新たな職員の配置が一番大きな変更点である。この施設長が、まちなか交流プラザにおける現場での一番の責任者という位置づけでよいか。

地域政策部長

おっしゃるとおり、現場での責任者となる。

西田委員

中間支援組織ファンタスへの業務委託について、先ほど交流事業の企画、運営等をお願いしたいという説明があったが、委託業務の具体的な中身について、ファンタスとの協議はしっかり完結しているのか。

地域政策部長

詳細な事業の中身までは整理できていない。どういった団体が活用するかもまだ決まってないので、そこまで話ができていないが、交流事業の企画、運営、参加団体や利用団体への働きかけ等の取組をやっていたことは整理できている。

西田委員

ファンタスにはいろいろな方が10名おられ、意欲的にやられると解釈しているが、安心してよいか。

地域政策部長

ファンタスのメンバーと、そういったことにしっかり取り組んでいただけるということで話をしている。大丈夫だと認識している。

肥後委員

施設長を1名、急遽追加で配置するということだが、最初の年から施設長と事務担当の2名体制になり、特に若い方の利用が想定される。そうすると各種補助金の申請や起業支援もここが窓口になるのではないかと思うので、5年計画だったと思うが、将来的にここをワンストップ窓口にできるように考慮していただきたいがどうか。

副市長

いろいろな事業をどうしたらよいか、補助金はどうしたらよいかは、運営に当たるファンタスを中心にやっていきたい。市の職員なので、どういう制度があるかのアドバイスはするが、ファンタスが中間支援組織としてまちづくり組織や活動団体との連携を深めるためにも窓口になってほしいと思っているので、ファンタスも立ち上げてすぐではあるが、一緒になってここでいろいろな情報発信と、相談があったときにキャッ

チボールができる。そして、ここから市の担当課に問い合わせ情報をもらい、相談ができるような、それが中間支援組織として活動していただく有効な方法ではないかと思うので、そういうことを配置する施設長と事務担当が応援して一緒にやっていきたい。

肥後委員

この建物自体は商工会議所の所有で、2階に行けば商工会議所がある。会員のメンバーになったりといった話もあるだろうし、市の職員が常駐するなら、起業や若者支援についてはここをワンストップ窓口にしてはどうかと思った。説明を聞いて、その点については必ずやってほしい。

大谷委員

資料にある役割分担の表をベースに話をしたい。ファンタスは夜間、休日に三角印がついているので、土日祝日については一日ファンタスが対応して、平日の17時以降もファンタスが対応するという理解でよいか。

地域政策部長

おっしゃるとおりである。

大谷委員

であるなら、月曜から金曜までは浜田市と商工会議所の方が対応するというので、例えば商工会議所が週1回金曜日に対応するとしたら、浜田市の担当者は月曜から木曜だけの勤務になるのか。

地域政策部長

勤務シフトについては、ファンタスと市と会議所でどういったローテーションを組むかはこれから決めるが、イメージ的にはおっしゃるとおり、会議所が平日の昼間の1日、市の会計年度任用職員が残りの平日4日間の昼間である。この施設は、平日は午前9時から午後9時まで、土日は夕方6時まで開けるが、平日の夜間と土日の常駐をどう回すか。場合によっては浜田市の会計年度任用職員が土日に交替で入るようなローテーションも考えられると思う。そこはこれから決める。

大谷委員

シフトが幾らか変わるの理解できるが、仮に、月曜から木曜に出勤するのが市職員2人なら、2人張りつく必要性について、業務量はどうかとを感じるが、どのようなイメージを持っているか。

地域政策部長

業務量はこの役割分担のとおりだが、市の職員を平日の昼間に常時2人配置するのではなく、土日に入ったり、場合によっては時間をずらして夜間に入る形を取りたい。

大谷委員

そうであれば、受け入れる団体や内容によってシフトを変えて、受け入れる団体に対してシフトを厚くしたり薄くしたり、そういうイメージでよいか。

地域政策部長

受入団体、利用団体等に応じて柔軟に対応できるようにしたい。

大谷委員

1階フロアの中に商工会議所へ上がる動線が入っていたと思うが、間違いないか。

地域政策部長

おっしゃるように正面入口を入ったところがオープンスペースになっているが、その左側の奥に階段があるので、そこを使って商工会議所の職員や来客は2階へ上がる。また、右側の奥にはエレベーターもあるので、場合によってはそちらも使われると思う。

大谷委員

土日利用の場合、市で借りる1階フロアと、2階以上の商工会議所が使うフロアを管理上区分けする必要が出てくると思うが、どういう対応をするのか。

地域政策部長

土日は、エレベーターは停止しているので利用できない。階段についてはシャッターなどで閉じることができないので、ロープなどの侵入止めを設置する形になる。交流プラザには常時スタッフがいるので、もし2

階に上がろうとする人がいれば声をかけるのと併せて、会議所が監視カメラを設置するので、もし2階に上がるセンサーが反応した場合には警備会社に連絡が行き、警備会社からスタッフが来るような体制を取る。

大谷委員

土日の何かと手薄な状況でも管理的には対応できると理解はできた。それと、今の外観だと、まちなか交流プラザになったことを市民になかなか周知しにくいので、外観上も何らかの模様替えが必要ではないかと思うが、その辺りの経費負担は考えているか。あるいは全体として商工会議所がそういったことを考えているのか。

地域政策部長

ビル全体の外壁塗装やリフォームの予定は今のところ聞いていない。正面入口に、まちなか交流プラザの看板の設置は市で考えたいと思っているが、まだ具体的には詰めていない。

大谷委員

看板だけでは変わったことが周知できないので、費用をかけない範囲ではと思うが、浜田の木材で格子をつくるなり、変わったことが見てわかるようにしないと認知が進まないのではないか。そういった考慮が必要ではないかということ指摘しておく。

佐々木委員

当初の会計年度任用職員は、地域おこし協力隊を充てるという話だったが、責任者はそれとはまた別の人なのか。

地域政策部長

事務担当の1名は、当初は地域おこし協力隊という想定もしていたが、現在は浜田市の会計年度任用職員を想定している。施設長については、事務担当とは別で、この度の検討で追加配置をしたいと考えており、こちらも市の会計年度任用職員である。

佐々木委員

1名増になるので、人件費が加算されるのか。

地域政策部長

施設長の人件費については、人事課の会計年度任用職員予算を充てたいと考えている。当初、予算編成の時点では施設長を想定してなかったもので、運営費には含まれていない。全体の運営費から施設長の人件費を出すことは困難なので、新たに発生した経費ということで、人事課の予算で対応する。

佐々木委員

施設長の人件費は運営費に含まないという考えか。

地域政策部長

運営費の中に事務担当の1名分は人件費として含まれているが、施設長の人件費は令和5年度に限っては入っていない。

佐々木委員

今回は予算上の特別な対応ということか。

副市長

定住関係人口推進課は今欠員状態になっている。令和5年度以降も人員配置している。基本的には全体の人事の中で、正規職員ではなく会計年度任用職員を1人配置することになっているので、定住関係人口推進課の人件費としては減るので、それも含めて人事課で会計年度任用職員1人分を、定住関係人口推進課の配置として回してもらう。

佐々木委員

実際にこの建物で仕事をするのか。

地域政策部長

施設長と事務担当は、まちなか交流プラザで勤務する。

佐々木委員

ファンタスが夜間と休日の業務をするようだが、ファンタスの拠点はどこなのか。ここで仕事をするようになるのか。

副市長

できればこの建物の中に拠点を設けられたらと考えて、商工会議所と協議している。1階の受付の辺りにたくさんの方が集まる場所は作れないと思うので、会議所の中でそういうスペースを確保できないか協議してもらっており、ファンタス側も、できればこの建物に拠点があればとい

- う思いがある。
- 佐々木委員 責任者は施設長とのことだが、建物の管理だけではなくファンタスが担当する交流事業の運営も、施設長が責任者になるのか。
- 地域政策部長 施設長はまちなか交流プラザ全般の管理監督というイメージであり、業務の委託元の担当者でもあるので、そういう形になる。
- 佐々木委員 この人が施設の管理、企画、運営、大体の責任を持って窓口でというイメージなのか。
- 地域政策部長 施設長として全体を管理するが、企画、運営部分については基本的にファンタスに担ってほしいと思っている。浜田市は設置者で、もちろん連携を取りながらサポートしていくが、企画、運營業務についてはファンタスが主になるイメージである。
- 佐々木委員 施設長は責任者だが、企画、運営に多少はかかわるが、一緒になって考えると、責任を持って自分からやるのではないということか。
- 地域政策部長 施設長が責任を持って自ら動くのではなく、あくまで全体を管理、調整するが、企画、運営の実務、関係団体や利用者との連携、コーディネートの部分はファンタスが担う形を想定している。
- 佐々木委員 そうすると、長は誰なのか。
- 地域政策部長 施設全体の管理は施設長が担う。委託元である浜田市の現場での代表者、責任者ということで、施設長という言い方にしている。業務の一部をファンタスに委託しているので、その部分はファンタスにしっかりやってもらいたい。
- 三浦副委員長 まちなか交流プラザで何をするかという方針は誰が決めるのか。施設長ではなく定住関係人口推進課で決めて、それをどのように運用していくかをファンタスに委託するのか。ここでいう施設長とは、あくまでこの場所の管理責任者という位置づけなのか。
- 地域政策部長 今おっしゃったようなイメージでよいと思う。
- 三浦副委員長 今回の修正案は施設長ということで1人増員になる。当初は、まちなか交流プラザを運営していくときにはファンタスと会計年度任用職員1人で回してもらった想定だったと思う。これに1人増えるのだから、それぞれに想定されていた役割は減るはずだ。今回初めて、委託業務の中身が具体的に列挙され、ここに「情報収集」と出ている。こういった部分は、人が増えたからファンタスにお願いする業務が付加されたのか。どういう整理をしたのか説明をお願いする。
- 地域政策部長 おっしゃるように、市の職員が1名増えているので、全体の人役というか、労働力は増えている。その部分をどのように活用するかは、単に施設管理だけでなく、特にファンタスにはもともとお願いしたかった企画、運営の部分に労力を割いてもらいたい。
- 三浦副委員長 夜間休日等の施設管理については当初の説明どおりだと思うが、特に情報収集とは、交流を生むとなるとどのような情報収集を想定しているのか考えなければいけない。場合によっては地域に出て行くことも含めて委託としてお願いするのか。
- 地域政策部長 情報発信、情報収集等については、この施設を利用する団体や関係機関との連携といった情報収集を想定しているので、出かけて行くこともあると思う。

三浦副委員長

管理という側面から責任の所在をしっかりと明確にすることと、交流を生むためにファンタスに期待する部分を委託するという事で、2名の会計年度任用職員と会議所では埋められない管理の部分も含めて、ソフト面をお願いしたい思いで、こういう変更をされたという理解でよいか。

地域政策部長  
三浦副委員長  
地域政策部長

しっかり委託部分を充実させたいということで、職員を1人増やした。会議所は週1日、これは変わらないのか。

現時点では職員の配置は週1日だが、会議所が持っているノウハウや、商工団体との連携、会員との情報のやり取りなどについては、商工会議所でしっかりやってもらう。

芦谷委員

まちづくりセンターの例を出すまでもなく、大変曖昧な弱い体制があるから混乱する。指揮命令系統は部長の直轄なのか、あくまでも定住関係人口推進課の内室なのか。

地域政策部長

内室という組織のイメージは持っていないが、会計年度任用職員は定住関係人口推進課長の部下として、まちなか交流プラザに勤務する形になる。

芦谷委員

ファンタスとの折衝は、定住関係人口推進課長の指揮のもとに行うのか。

地域政策部長  
芦谷委員

所属長は定住関係人口推進課長なので、その形になると思う。

受託者のファンタスとの関係は、現場ではやり取りをするが、最終的な決定は定住関係人口推進課の判断を仰ぐということか。

地域政策部長  
大谷委員

委託契約の中でそのような形になると考えている。

情報発信は中間組織がするとあるが、パソコンを操作するのもファンタスなのか、それとも会計年度任用職員の事務担当が入力して発信するのか。施設の利用状況、空き状況はホームページに掲載するのだろうか、その管理はどのように想定しているか。

定住関係人口推進課長

表の中に（サポート）と書いているが、日中に浜田市の会計年度任用職員がホームページ等を使って、施設の利用状況や、収集してきたさまざまな支援団体等の情報を、まちなか交流プラザのホームページ上で情報提供していくような形になると思う。

大谷委員

企画、運営についての作業は中間組織が行うが、最終的な発信などの責任は市の側が取るということでよいか。

地域政策部長

おっしゃるとおりである。作業はファンタス側に、管理運営の責任は市にある。

三浦副委員長  
永見委員長

進行を交代する。

表の見方について、夜間や休日はファンタスが管理すると理解してよいか。会計年度任用職員は5時半までと書いてあるが、平日の5時半以降は全てファンタスが管理されるのか。

地域政策部長

平日の5時半から9時までは、基本的にはファンタスに施設管理もしてもらうことを想定している。ただ、シフトのローテーションによっては平日の夜も施設長が入ったり、市の事務担当が入ったりするなどの調整はあると思う。

永見委員長

商工会議所が平日を担当する場合もあると思うが、その日の夜間もファンタスが対応するのか。

地域政策部長

商工会議所の週1回は平日の昼間のみを想定しているので、それ以外の

永見委員長  
地域政策部長

部分はファンタスが勤務に入る。

サポートとはどういうものか、もう一度説明をお願いします。

交流事業の企画、運営と、はまだ未来ネットワークの運営は、基本的にはファンタスに業務委託契約してお願いするが、特に令和5年度は初年度ということもあり、浜田市の関連団体や機関等への連絡調整、企画立案については市も全面的にかかわるべきだと思っているので、ファンタスに任せ切りにするのではなく、設置者である浜田市もサポートするという意味合いである。

三浦副委員長  
西田委員

進行を交代する。

一番大事なのは、中間支援組織がどれだけ動けるかだと思う。若い人ばかりなので期待しているが、仕事を持っている人や学生が、今の業務委託の中身を果たしてどれだけこなせるのか不安がある。中間支援組織に委託する業務は、市が主体的にやってくれとお願いしているほうが強いのか、それともファンタス側がやる気満々だからやるという気持ちなのか、どちらが強いのか。

副市長

もともと、まちなか交流プラザをつくるのは市の発想で、大学生や若者の意見もあり、いろいろ協議してきた。運営については、若者会議という組織ができ、そこから中間支援組織ができ、自分たちが地域活動の人をつないだり連携したり、企画したいという声があったので、市が場所をつくるからそこでやらないかというキャッチボールをして、お互いに協議をして役割分担をどこまでやるか詰めてきた。

当初は管理運営も全てお願いする話をしていたが、先ほどの指摘のようにそれぞれ別のこともやっておられ、負荷もかかるだろうし、議会から不安の声もあったので、管理については市が全面的にやるが、交流事業や企画はファンタスにお願いする。内容を全て見せて、先方も組織内で話をされ、担う部分の回答をいただき、すり合わせをできた。

永見委員長

ほかに質疑はあるか。

( 「なし」という声あり )

## 2 その他

永見委員長

執行部から何かあるか。

( 「なし」という声あり )

委員から何かあるか。

( 「なし」という声あり )

では、以上で総務文教委員会を終了する。

[ 18 時 05 分 閉議 ]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

総務文教委員長 永見 利久